

# District News Letter

地区だより



Vol. 12  
2014.6.1

## Governor's News Letter

ガバナー ニュースレター

2013-2014年度

国際ロータリー会長 **ロン D. バートン**

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）

2013-2014年度 ガバナー **森本 信一**

### Content

- |    |                                             |       |              |
|----|---------------------------------------------|-------|--------------|
| 2  | ガバナーメッセージ                                   | 11    | 文庫通信・ハイライト米山 |
| 3  | 第1・第2グループ合同IM 報告                            | 12~14 | 地区だより        |
| 4  | 2014-2015学年度米山記念奨学生<br>オリエンテーション・歓迎会報告      | 15    | 出席報告         |
| 5  | 地区ローターアクト 国際交流行事<br>2013-2014年度インターアクト地区協議会 |       |              |
| 6  | 平田RC創立40周年記念式典を終えて                          |       |              |
| 7  | 倉吉中央RC創立 20周年記念式典・記念事業を終えて                  |       |              |
| 8  | 岡山後楽園RC創立 25周年記念式典・祝賀会を終えて                  |       |              |
| 9  | 岡山西南RC創立45周年記念式典を終えて                        |       |              |
| 10 | 出雲RC創立60周年式典を終えて                            |       |              |

### 美作滝尾駅

(有形登録文化財) 津山市

因美線の津山-美作加茂駅間が開業した1928(昭和3年)に建てられた。昭和初期の標準的な木造の小規模駅舎。窓枠は木製で内部など、各所が非常に良く原形を留めている。映画「男はつらいよ」シリーズの最終作「寅次郎紅の花」の冒頭シーンの撮影場所として知られる。



## ガバナーメッセージ

# ロータリー親睦活動月間によせて

国際ロータリー第2690地区 もりもと しんいち  
(津山RC) ガバナー **森本 信一**



ロータリー親睦活動の歴史は古く、1928年エスペラント語に興味を持つロータリアンが集まったことをきっかけにスタートしたとのことです。

その後種々変遷を経て、2000年10月、RI理事会は6月を「ロータリー趣味・職業別親睦活動月間」の呼称で、特別月間に指定しました。2002年には「ロータリー親睦活動月間」と改称され、今日に至っています。

ロータリー章典によると「ロータリーの親睦活動は、友情と親睦を深めるために、共通の職業的活動または、レクリエーション活動を遂行する目的で結束したロータリアンのグループである。ガバナーは、地区内クラブによるロータリー親睦活動への参加を促すため、委員長1名と少なくとも3名の委員から成るロータリー親睦活動委員会を設置するべきである。(中略)親睦活動グループの公式認定は、RI理事会の審査、承認およびそのほかの親睦活動グループの設置に関する方針に基づくものである。」となっています。

親睦というと、クラブ内の親睦活動が主体と考え

がちですが、クラブ内だけの活動に留まらず、地区内のクラブ、全国、世界のクラブ間の親睦活動に輪が広がっていくことが重要です。現在RIが認定している世界的な趣味グループは80を超えるものが登録されているようです。



全日本ロータリークラブ親睦卓球大会

第2690地区では、昨年出雲中央RC殿が主催された「全日本ロータリークラブ親睦卓球大会」などが全国にまたがる親睦活動と言えます。

2010年にロータリーの戦略計画の中で明示されている、中核となる価値観では、「奉仕」と「親睦」はロータリー発足当初から変わりありませんが、更に「多様性」、「高潔性」、「リーダーシップ」が追記され、この5項目がロータリーの基本理念として明示されています。ロータリー活動で「親睦」と「奉仕」のバランスを取ることが重要です。どちらか一方に偏った活動では真のロータリー活動とは言えません。そしてクラブを超え、地区内、日本国内、そして世界に輪を広げた親睦活動に取り組んでいこうではありませんか!



第8グループ合同懇親会



『不順だった天候もやっと安定し、ツツジの花も咲き染める4月26日、本年度最後となるIMが米子コンベンション・センターにおいて、県下13クラブ・460名の登録をいただき開催されました。



第1部は、産婦人科医の見尾保幸氏による「みつめてみよう、かけがえない生命の営みを」というテーマのもと、われわれがあたりまえ、自然なことと思っている母親の胎内での一つの命の誕生が、いかに「奇跡」の積み重ねの結果であるか、また近年、

クラミジア等の性感染症やダイオキシン等の有機化合物による影響で精子が減少し、妊娠しにくいケースが増えていることや命を軽視する風潮が広がっており、夢やひたむきさ、感謝の気持ちを一人でも多く感じてもらいたいと、警鐘を鳴らしていただきました。

また、第2部では見尾先生に加え、子育てNPO法人の代表者、スポーツ・幼稚園関係者による「将来を担う子供たちの為に」とのテーマのもと熱心なパネルディスカッションが行われ、それぞれのお立場からの子育てについてのお話いただきました。このIMは市民にも公開しましたが、中座する人もなく全員熱心に最後まで聴講していただきました。

人口の急速な減少は、われわれ日本人が直面する大きなテーマであり、環境問題への関心の大切さに始まり、われわれの子孫に対する意識改革を迫られている大きな問題であると改めて感じ、ロータリーの奉仕の新しい方向性へのご示唆をいただいたように感じました。

第1・第2グループ合同IMでは、こしばらく懇親会は開催されておりましたが、実行委員会のなかでそのあるべき姿を論議した結果、各会長のご理解のもと9年ぶりに開催することとなりました。会場を米子全日空ホテルに移し、全員抽選による着席としたため旧友との再会を喜びあう声や初対面のあいさつが交わされ、米子南クラブ自慢のバンド「サザン・スターダスト」の演奏でガバナーにもご自慢の喉をお聞かせいただくなど、最後まで和やかな懇親会となりました。



## 2014-2015学年度米山記念奨学生 オリエンテーション・歓迎会報告

地区米山奨学会委員長 治郎丸 清志

2690地区の2014～2015学年度新規米山奨学生16名のオリエンテーション及び歓迎会が、4月27日(日)にピュアリティまきび(岡山市)で開催されました。

当日は、森本信一ガバナー、伊藤文利米山記念奨学会評議員、脇利幸地区代表幹事、松本祐二ガバナーエレクトなど来賓・地区役員、世話クラブのカウンセラー・会長エレクト、継続米山奨学生、学友会役員など総勢66名が出席し、盛大なオリエンテーション・歓迎会になりました。オリエンテーションにおいて、新規奨学生16名に「米山奨学生としての心得(責任と義務)」が詳しく説明され、それらを理解し約束する「確認書」を奨学生から提出してもらった後、森本ガバナーより、新規奨学生16名1人1人に奨学金(4月分)と奨学生バッジが授与されました。

その後、講師の米山記念奨学会の武本泰子氏より「米山記念奨学会について」講話をして頂き、米山記念奨学会の創設・発展の歴史、学友会の展開などについて説明され、米山奨学生として選ばれたことを誇りとし、奨学金は学業研究、文化交流、地域活動への参加など有意義に活用すること、奨学期間終了後も学友として世話クラブ・カウンセラーとの交流を続けることを訴えられました。

歓迎会では、和やかな雰囲気の中で、新規奨学及びカウンセラーの全員が、ショートスピーチをして、米山奨学生になったことへの喜びと世話クラブでの交流への抱負、カウンセラーとしての責任などが熱く語られました。



学友会の何曉麗会長など学友会役員からも、それぞれの世話クラブでの心に残る経験や奨学生へのアドバイスが伝えられ、学友会の親睦会や活動に参加を呼びかけられました。

最後に、次期地区米山奨学委員長の齋藤寛治氏が次年度の行事予定の報告を含めて挨拶され、閉会しました。

## 青少年交換委員長会議～統一保険の導入

地区青少年交換委員長 近堂 申洋

4月19日(土)に東京品川プリンスホテルにて青少年交換委員長会議が開催されました。ここではインバウンド(来日学生)の来日後に発症した傷病に対する保険制度の説明を受けました。そもそも、ロータリー章典では青少年交換認定地区において保険により規定の保障を付与することを要求しています。今までは、日本の国民健康保険の範疇以外の部分はインバウンド本人が派遣元国で加入してくるものに委ねていました。しかし、僅かですが無保険のままの来日が発覚したり、万一の場合を想定して、RIJYECがインバウンドに対して日本全地区統一保険を検討していました。(RIJYECとは正式名称を特定非営利活動法人国際ロータリー日本青少年交換委員会といい、各地区の青少年交換委員会をサポートすべく設立された法人組織です。)今

後契約を交わすインバウンドはこの保険と国民健康保険に加入することが来日の条件になります。委員会としては、派遣元国で加入できる保険との絡みもあるので、相手先に理解いただくよう働きかけることとなります。ただ、引き受けていただくRC様には万一の保障面で安心していただけると思います。

当地区からは岡山旭川RCの推薦で岡邊晴香さんがオハイオに、倉吉RCの推薦で伊藤香織さんがフロリダに決定したことは既にご案内した通りですが、インバウンド学生も正式に決定いたしましたのでここで紹介させていただきます。Draper(カナダ、岡山南RC)、Dillon(フロリダ、倉吉RC)、Julianna(オハイオ、岡山旭川RC)の3名です。どうぞよろしくお願いたします。

## 地区ローターアクト 国際交流行事

地区ローターアクト委員長 長谷川 隆嗣

地区国際交流行事が高梁市で開催されました。

内容はカンボジア・韓国・フィリピン・日本のカレーをその国の留学生たちと作るというものでした。料理を通じ交流を深められ、その国のこと知るきっかけとなり有意義な行事となりました。今回ホストを務めた吉備国際大学クラブは昨年度は休会しており今期から活動を再開しました。復帰間もないながら一つの行事を最後までやり遂げることができました。この経験を来期へと繋ぎ、吉備国の活動がさらに活発になることを期待します。



## 2013-2014年度 インターアクト地区協議会

地区インターアクト委員長 川上 昌俊

インターアクト地区協議会が去る4月27日(土)、4月28日(日)の二日間にわたり鳥根県江津市の「鳥根県石央地域地場産業振興センター」に於いて参加IAC17校の顧問教諭25名、RC16クラブ31名の総勢56名の参加で盛大に開催されました。

又、松本GE、須山次期代表幹事様には大変お忙しいなかご参加いただきありがとうございます。

ホストクラブは石見智翠館高等学校IAC、ホストスポンサークラブは江津RCです。

第1日目のプログラムとしては、次年度の7月26日(土)27日(日)に行われる第37回インターアクト地区大会について協議しました。

その日の夜は懇親会で、各顧問教諭、RC相互の親睦を深めました。

第2日目は顧問教諭とRC会員別々に分科会として今年度の報告、次年度に向けての課題などを話し合い、全体会議でそれぞれの会議の結果を発表しました。

今回の江津で開催される地区大会は、大河江の川の河口を大蛇ボートに乗って川下りをする豪快な体験も出来るようです。RCメンバーの方もぜひ参加してインターアクターたちと一緒に楽しんでみては如何でしょうか。

今回の地区協議会を準備、開催に携ってくださった石見智翠館高校、江津RCの皆様にはあらためて心より感謝申し上げます。



## 平田 RC 創立40周年記念式典を終えて

幹事 佐々木 哲也

平成26年4月5日、長岡出雲市長ほか来賓の皆様、森本信一ガバナーをはじめとする多くのロータリアンご臨席の元、平田ロータリークラブ創立40周年記念式典を開催いたしました。



当クラブは1974年(昭和49年)5月30日に出雲南ロータリークラブをスポンサーとして会員23名で創立しました。その後、会員数の増減を経ながら、現在の会員数は43名です。近年の活動として、モンゴル共和国に地球環境を訴えた本「地球の秘密」1万冊の贈呈や近隣地域での植樹をおこなっています。

今回の記念事業は、3月6日、地域の将来を次世代に繋げたいとの思いを込め、卒業式前の平田中学校3年生生徒と一緒に、地域のシンボルの一つである平田愛宕山公園に平安枝垂れ桜シンボルツリー1本と苗木10本を植樹しました。シンボルツリーの根元には生徒の「将来の夢」等の願い事を書いた紙を埋めまし



た。これらは徐々に風化して土となり、樹木の養分となります。養分を吸収した樹木が夢の願いとともに生長し、やがて夢の大輪を咲かすことを願っています。

記念講演の講師には、陸前高田市の慈恩寺住職で、東日本大震災の被災者であるとともに震災時に避難所として大きな役割を果たされた古山敬光 師をお招きし、「東日本大震災を体験して 人生のまさか」の演題で、大震災時の体験談や現在の状況などを拝聴しました。

また当クラブの会長である一畑薬師教団飯塚大幸 管長の揮毫による墨跡展を開催し、その収益を陸前高田ロータリークラブに災害義援金として贈らせていただきました。



森本ガバナーおよび創立時に当出雲南ロータリークラブ会長であった山本茂生パストガバナーからはお祝いとお励ましの祝辞をいただきました。今後45周年・50周年に向けて、奉仕活動のさらなる発展・充実を図りたいと思います。

# 倉吉中央 RC 創立20周年記念式典・記念事業を終えて

創立20周年記念実行委員長 米田 陽子

倉吉中央ロータリークラブは、1994年4月6日倉吉東ロータリークラブをスポンサークラブとし、国際ロータリー第2690地区の64番目のクラブとして誕生し、本年創立20周年を迎えました。



倉吉中央ロータリークラブ20周年記念式典 平成26年4月6日(2014) 倉吉シティホテル

この節目に当り、「学ぶところ 習うところを今 教える」をテーマとして、4月6日倉吉シティホテルで創立20周年記念式典・記念事業並びに祝宴を開催いたしました。記念式典には、石田耕太郎倉吉市長、協利幸地区代表幹事、渡辺好政元RI理事、熊野光紀創立時特別代表ほか多くの来賓のご臨席を賜り、福井利明会長の下、厳粛で盛大な記念式典・記念講演並びに祝宴を挙げる事が出来ました。心より感謝申し上げます。

会員23名と少人数のクラブではありますが、会員家族の協力と、倉吉ロータリークラブ、倉吉東ロータリークラブの全員登録の後押しをいただき、成功裡に終える



ことができましたこと、会員一同、喜びとともに感謝の気持ちでいっぱいでございます。

記念事業は、「国際時代に通用する、自己エンジン搭載の若者を育てる」と題して、記念講演を、前尾道市立因島南中学校長 岡本和信氏を講師に、次代を担う青少年教育を熱く熱くご講演いただきました。当クラブの活動の原点でもあります「科学するところ」をしっかり発信し、私たちの奉仕活動が地域の発展のためにさらに広がる事を願っています。また、倉吉市立図書館に『科学するところ』の提唱者であります地元出身の元文部大臣 橋田邦彦氏関連書籍、軸、写真等関連資料を贈呈いたしました。子ども達が地域に誇りと自信を持ち、夢に向かっていく一助になることを願っています

創立以来、20年間チャーターメンバーとして、クラブ発展のためご尽力いただきました6名の方々に感謝状を贈呈し、敬意と感謝を表しました。

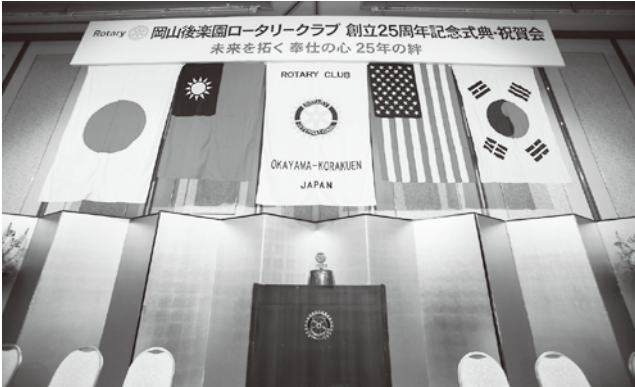
祝宴は、はじめに倉吉中央ロータリークラブ20年の歩みをスライド上映し、20年間にわたる歴史を振り返ることから始まり、素晴らしいご挨拶や音楽イベントなどで、とても楽しいひとときとなりました。

いよいよ次は25周年、私達倉吉中央ロータリークラブらしい奉仕の理想をかかげ、新たな一步を踏み出して参ります。

お世話になりました皆様方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 岡山後楽園 RC創立25周年記念式典・祝賀会を終えて —未来を拓く 奉仕の心 25年の絆—

創立25周年記念事業実行委員会 委員長 秋山 義信



### はじめに一ハプニングで始まる—

2014(平成26)年4月6日(日)午前11時より、アークホテル岡山にて当クラブの創立25周年記念式典・祝賀会が開かれました。開会直前、森本信一地区ガバナー、松本祐二地区ガバナーエレクトから「県北が雪のため、式典に間に合わない」との連絡が入りました。私は、開会あいさつで、まずそのことに触れました。そのハプニングが、会場を和ませてくださいました。



### 周年行事の目的

周年行事は、クラブの過去を振り返り、未来を語ることに目的があります。同時に準備の過程を通して、お互いを知合い、親睦と友情をさらに深め、将来への活動の基盤をつくることにもなります。創立25周年も同様です。

### 創立25周年を楽しむ

ご来賓、招待者、友好クラブ(海外-台北東南扶輪社・タモンベイRC・ソウル盤浦RC、国内-丸亀東RC)、米山学友・米山記念奨学生、青少年交換受入学生、OB会員、会員・夫人、事務局を含め200名の

出席。特に友好クラブからは57名の出席者でした。式典での4ヶ国の国歌斉唱は、練習の成果を示すことができました。



今回の記念事業は、旭川荘真庭地域センターへの福祉車輛の贈呈(3月23日現地にて贈呈式)と蒜山千本桜の植樹(実施は次年度)の二つです。

祝賀会では、私たちが長年支援している「全国高校生邦楽コンクール」受賞者の佐竹舞香さん(箏)と井本蝶山さん(尺八)による記念演奏会がありました。誠に秀逸でした。私たち会員も出席の皆さまとともに、記念演奏会を楽しみました。同時に多くのロータリアンの皆さまとの交流ができました。



### おわりに

私たちは、この日のために、「一人一人が主役です」を合言葉に準備を進めてきました。出席者の心に残る記念式典・祝賀会になったものと自画自賛しております。また、森本地区ガバナー、松本地区ガバナーエレクトには、祝賀会ののち、思いがけず、海外友好クラブとの夕食会にも出席していただきました。おかげさまで夕食会は大いに盛り上がりました。



## 岡山西南RC創立45周年記念式典を終えて

会長 安永 幸賢



岡山西南ロータリークラブは平成26年4月7日を以って創立45周年を迎え、11日には記念式典を挙行之、無事終える事が出来ました。我がクラブは京都ロータリークラブを祖クラブに、岡山ロータリークラブを親クラブとして創立会員19名で発足いたしました。それから45年、今年を創立50周年の前哨戦と位置づけ、45周年記念として「事業はそれなりに、式典は質素に」という運営方針を掲げました。一方、会長方針として、世代間の隙間を無くし、和気藹々のクラブにするために数多くの同好会を発足しました。また、会員の作詞作曲によるクラブ歌も出来上がり、その下で一致団結し、胸襟を開いて例会を楽しもうと事業年度がスタートしました。そして楽しい例会を続けることにより、会員の増強、特に若い会員の増強に努めたいと考えました。



この10ヶ月、会員の協力により、今年度の事業もそれなりに実施出来た様に思います。また対外的にも、この創立45周年式典が最後となり、「質素に」と言う当

初の目標も達成できたのではないかと安堵いたしております。

式典の参加者は、森本ガバナーを始め、子クラブ、IM共催の岡山旭川RC、姉妹縁組クラブの台中東南RC等、そして我がクラブ会員家族を含めて100名を少し超える位の人数となりました。しかし「ごちんまりとして、返って良かった」との声も聞かれ、無事終わったことを皆で喜んでいきます。中でも藤原健補ガバナー補佐の記念講演「出会い・触れ合い・助け合い」は、式典を格式のあるものに高めて頂きましたし、祝宴に於ける手作りの「ハンドベル演奏」は、ご参加の皆さんに感動を与えたと聞きました。汗をかき、時間をかけて努力した



事が、それに繋がったのだと感謝しております。これぞロータリーです。自画自賛に成りますが、良い創立45周年記念式典が出来たと思っています。さあ、これから50周年に向かって出発です。皆さん本当に有難うございました。

## 出雲 RC 創立60周年を終えて

幹事 福間 正純



平成26年4月20日、ニューウェルシティ出雲に於いて私どもクラブの創立60周年を記念する式典・講演会・祝賀会を開催しました。式典には出雲市長長岡秀人様を始め地域の諸団体代表者の皆様やRI第2690地区ガバナー森本信一様を始めとする多数のロータリー関係の皆様にご臨席いただき、盛大且つ厳粛に執り行うことができました。式典では来賓の皆様から心温まる祝辞を頂くとともに、永島会長は「奉仕の質を高めること、奉仕の輪を拡げていくこと、そしてそのことによって地域がより明るく豊かになることを願う」として、これからの活動に向け熱い決意を表明しました。二つの記念事業を発表しました。一つは出雲科学館への天体望遠鏡と赤道儀の寄贈です。出雲市内の小中学生が科学の分野により興味を持ってもらえれば幸いです。もう一つは出雲市中学校軟式野球大会への優勝旗の寄贈です。私どもが大会の支援をするようになって17年目となりますが、青少年健全育成の一助なることを願っています。



講演会ではRI元理事渡辺好政様を講師としてお迎えし、「My Rotary Moments ~だからロータリーはおもしろい~」と題して講演していただきました。

豊かな経験に基づく示唆に富んだお話で、ロータリーの魅力、真のロータリアンとなるためには等今後の活動に取り組む上でとても参考となるお話でした。



祝賀会は出雲楽友協会の皆様の演奏と歌で始まりました。小学校・中学校・高校も含め音楽のレベルの高い出雲らしいオープニングであり、皆さんを魅了していたようです。そして今回も姉妹クラブである台湾の高雄東区ロータリークラブから李会長以下30名もの皆様がお祝いに駆けつけていただき友好の深まりを再認識できました。最後は山本茂生パストガバナーによる万歳三唱で和やかに過ごした一日を締めくることができました。

盛会のうちに全てを終えることができ喜んでおります。皆様方に深く感謝いたします。



# 文庫 通信

(320号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ロータリーの資料より

◎「ロータリー活動で感じたこと」	田中作次	2014	5p	(D.2550月信)
◎「日本ロータリーの精神伝統 その1・2」	深川純一(冊R.C.)	2010	2p	(純ちゃんのコーナーPartIX)
◎「ロータリーの伝統その1～3」	深川純一(冊R.C.)	2013	3p	(純ちゃんのコーナーPartXII)
◎「少会員クラブの運営に思うこと」	安孫子貞夫	2014	1p	(D.2800月信)
◎「ロータリアンその使命と魅力」	大迫三郎	2013	3p	(D.2730月信)
◎「ロータリーの原点とは?」	本田博己	2013	3p	(D.2840月信)
◎「ロータリー理解推進月間によせて“温故知新”奉仕の理想など」	諏訪昭登	2014	1p	(D.2710月信)
◎「ロータリー・ファミリーの素晴らしさ」	飯村慎一	2013	1p	(D.2550月信)
◎「あの素晴らしいMR.ハリスと世界を変えたそのクラブ」	R. I. ;肥爪彰夫訳	2012	15p	
◎「驚くべきボリオの話!(ロータリーの冒険)」	R. I. ;肥爪彰夫訳	2013	15p	

[上記申込先:ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## ハイライトよねやま (公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



★中学校で「国際交流」の講演 — エソダ・バスネットさん —  
第2590地区(神奈川県横浜市・川崎市)米山学友会会長を務めるエソダ・バスネットさん(ネパール/2011-12/横浜戸塚RC)が4月28日、綾瀬市立陵北中学校(神奈川県)で「国際交流」をテーマとする講演を行いました。ネパールの民族衣装に身を包んだエソダさんは、全校生徒約700人に向けて、母国ネパールの紹介をはじめ、自身の日本留学体験や国際理解の重要性について語りました。

### ★寄付金速報 — 残り2カ月もよろしくお願ひします —

4月までの寄付金は前年同期と比べ3.5%増、約3,900万円の増加です。普通寄付金は前年とほぼ同額ですが、特別寄付金が5.3%増となりました。大口の法人寄付をいただいたこともあり、4月単月の寄付金、4月までの累計金額ともにこの5年間で最高額となり、今年度の寄付金は好調に推移しています。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただけていないクラブがありましたら、お早めにご送金賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



700人もの生徒さん達の前で話すのは初めての経験でしたが、皆さん、大変興味深く話を聞いてくれて、質問やコメントもしてくれたおかげで、充実した時間を過ごすことができました。今後も米山学友の誇りをもって、日本で学んだ知識や経験、語学力とロータリー関係のネットワークを活かしながら、ネパールと日本の懸け橋であり続けたいと思います。

### 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281  
E-mail:highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL:http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

# 地区だより (2014年4月)

## 新会員ご紹介



松原雄平 鳥取北RC	中村達哉 鳥取北RC	福田 収 鳥取北RC	峰岸健一 鳥取西RC	門脇武志 境港RC	川上裕治 松江RC	古瀬 淳 松江RC	石丸文男 松江南RC	珍部芳裕 出雲南RC	田上尚志 益田RC
岡田久樹 江津RC	森山 仁 大田RC	楠 隆行 笠岡RC	関藤英志 笠岡RC	長尾 憲 新見RC	荒井康博 総社吉備路RC	久保田祥之 倉敷南RC	綱島 勲 倉敷瀬戸内RC	秋山政徳 津山RC	神田 豪 岡山東RC
末藤達也 岡山東RC	日笠伸之 岡山北西RC	橘 信吾 岡山中央RC	小林 豊 岡山中央RC	千田益生 岡山西RC	林 英男 岡山丸の内RC	福田 進 岡山城RC			

## ロータリー財団への寄付

### 大口寄付者



岡本博文 倉吉RC  
和氣 泉 岡山北RC

### ポール・ハリス・フェロー



霜村哲男 鳥取北RC [2]	植田哲朗 鳥取北RC [2]	徳吉公司 鳥取西RC [1]	中田昭彦 松江しんじ湖RC [1]	安島 壮 松江しんじ湖RC [2]	櫛山陽介 浜田RC [2]	信長 充 新見RC [1]	高田 一 倉敷南RC [6]	薬師寺公一 総社吉備路RC [7]	三宅孝治 玉野RC [1]
高取 新 岡山北RC [1]	坂本真一 岡山旭川RC [1]								

## 米山記念奨学会への寄付

### 米山功勞者



山崎茂樹 大社RC [1]	米山幸男 出雲南RC [2]	東儀君子 出雲南RC [4]	吾郷紘一 出雲南RC [11]	山崎辰次 大田RC [1]	小原忠志 総社吉備路RC [1]	三谷尚三 玉野RC [1]	和氣 泉 岡山北RC [4]
------------------	-------------------	-------------------	--------------------	------------------	---------------------	------------------	-------------------

# 地区だより (2014年4月)

## ロータリー財団への寄付

### メモリアル・コントリビューター

松江RC 米田盛造(名誉会員)が、故元会員兼折博のために  
倉敷南RC 高田 一が、故妻高田恵美子のために

### クラブ使途指定寄付 (ポリオプラス)

境港RC 1,039.2ドル      松江東RC 1,000ドル      松江しんじ湖RC 500ドル      浜田RC 1,500ドル  
総社RC 372.55ドル      高梁RC 1,177ドル      玉野RC 691.18ドル

### 使途指定寄付をいただいた方々 (ポリオプラス)

児島 RC	藤井 誠 河合 浩 太田好宣 州脇泰雄	藤井昭佐 河合達朗 尾崎祐一 田中勝次	古市日利 小出輝正 佐伯増恒 渡辺好政	古谷栄一 近藤敬直 佐藤 靖 山本 修	原 敏恭 三宅智也 妹尾佳均 山本登三郎	橋本隆秀 難波恭一郎 下浦政昭 山崎泰弘	出石啓治 西原清孝 角南 晃 横田正生	片山多実雄 岡本紀久雄 須藤洋一 吉田修三郎
津山 RC	杉本邦夫	番原よし浩	廣野勝彦	廣澤大祐	井上昭雄	北村三郎	松永 章	森 宗柏
津山西 RC	有木淳浩 森定慈誠 太田洋一 谷口康子	中村早百合 佐藤みゆき 内田光教	西本美枝子 下迫博幸 上山良二	西村尚恵 下山武紀 山下正憲	野口泰俊 田淵浩巳 横道宣弘	小椋章光 高矢満雄 吉田 隼生	小椋 懋 高山照輔	太田邦夫 田邊九吾
津山中央 RC	阿形覚昇 亀川哲明 寺坂磨哉	有本 稔 國米一朗 山本 平	有本次男 野村昌平 前原知明	有宗博志 小笠原卓宏 松尾俊明	萩原一雄 岡田敏文 中西寛治	初川正子 坂田英輝	廣野 學 只友 珩	本多正明 田口太馬男

### クラブ年次寄付

鳥取西RC.....575.85ドル(新入会員寄付・その他)      総社RC.....1,019.12ドル(ミリオンダラーミール)  
倉敷中央RC.....700ドル(その他)      岡山RC.....1,431.37ドル(ミリオンダラーミール)

### 年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取北RC	入江敏夫 吉田和徳	道上正規 塚田 隆	笹野眞紀 千金周一	松本啓介	田中英教	松長政幸	田村文男	森本美明
倉吉東RC	濱口和男 広田和幸 笠田紘史	福井雅人 石田 正 熊野光紀	河越行夫 川本博文 長棟秀文	前田六仁 向井康英 大平純二	内藤彰範 仲村美枝 尾西正人	大坂芳郎 太田拓志 戸崎恭一郎	酒井義人 榊 孝	吉川由紀子 藤原賢治
鳥取西RC	宮本孟尚	瀧本浩志	湊 公平	井戸内義文				
松江RC	森岡隆行	平野政雄	伊藤 格	大西育恵	影山和夫	齋田香住	陶山秀樹	内藤允宏
松江しんじ湖RC	秋鹿 誠 平川和良	荒木賀津子 又賀敬子						
浜田RC	松尾 明							
江津RC	山藤 迪 大源富夫 藤代美友 佐々木啓之 岡田久樹	二上忠幸 寺下 衛 木原 清 柿本礼二 岡田将拓	藤田武利 室谷卓治 高田圭介 佐多 宗 佐々木一成	山崎一成 森口裕行 石橋孝義 川西 治	森脇祐之助 青木史郎 和原勝博 藤田和雄	永井良三 伊藤誠二 和木田登 久保田泰介	本藤繁夫 小川泰道 原 諭 小松 伸	桑原祥瑞 砂田 忠 尾前 豊 三上貴子
新見RC	尾藤嘉記 田榎幹自	小林喜久雄 富谷修二	小林 枉弘 吉岡 博	森 和子	阪本司郎	柴田政伸	田原隆盛	遠藤 彰
倉敷南RC	井上敏彦	久保田祥之						
倉敷中央RC	道明道弘 難波弘毅	穂津田孝一 西本克寛	檀 朋宏 大熊裕司	小河原洋子 高山五三郎	白神香織 渡辺洋介	友田淑子 楠戸登美夫	山中祥吉	國政郁哉

## 地区だより (2014年4月)

美作 RC	阿部芳孝 伊東順一郎 道廣義明 岡本英佑 高原 孝	赤島勇次 亀山弘道 峰平隆弘 岡崎正裕 鳥越一男	安東達雄 金谷典子 宮野憲二 奥山啓史 山本裕二	福井 彰 菊池 毅 中山道雄 大岡哲男 横田弘雲	濱田正典 小林 徹 西山 勝 小阪田泰彦 安藤達実	広瀬健二 小林剛一 則本 孝 尾崎武人	井上貴之 小谷 旭 尾高康弘 重 忠道	石浦公一 松島智之 尾高 貢 田淵常由
津山西 RC	西山尚恵	吉田 隼生	下山武紀	下山宏昭	藤川 亮	杉本康成	川本浩司	岸本達也
岡山北 RC	安部 誠 高祖哲也	大塚雅司 山本武彦	竹馬和彦 松田次歳					
岡山中央 RC	湊増泰太郎	橘 信吾	小林 豊					
岡山旭川 RC	穂田秀明 近藤章浩 佐藤洋子 吉田篤司	藤原建補 小西英昭 妹尾直人	原 哲也 源 真典 塩出純二	原口正行 中田 亨 塩谷健吾	橋本 勝 難波俊弘 富岡昌俊	入江 修 野崎隆司 宇佐美英司	木口浩一 大原利憲 山崎雅之	古村晴司 坂本真一 柳井基邦

### 米山記念奨学会への寄付

#### クラブ特別寄付

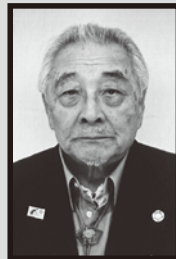
出雲南RC…5,000円(新会員寄付)	笠岡RC…27,456円(米山ランチ)
笠岡東RC…21,000円(米山ランチ)	倉敷南RC…13,860円(米山ランチ)

#### 年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取北 RC	田村文男 笹野真紀	森本美明 松本啓介	吉田和徳 森本正行	塚田 隆 田中英教	千金周一	入江敏夫	道上正規	霜村哲男
新見 RC	遠藤 彰 富谷修二	小林喜久雄 吉岡 博	小林 枉弘	森 和子	田原隆盛	阪本司郎	柴田政伸	田槇幹自

### 訃報

謹んで哀悼の意を表し、  
ご冥福をお祈りします。



西嶋克巳 名誉会員  
(岡山北RC)

2014年3月31日ご逝去(享年83歳)  
1969年2月8日入会 創立会員

1979-1980年度第12代会長  
大口寄付者(レベル1)、ベネファクター、  
米山功労者第3回マルチプル

### 先月号の訂正と お詫び

地区だより5月号(VOL.11)に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

P.10 岡山RC創立80周年式典を終えての記事中、高尾RC→高雄RC

P.12 地区だより、ロータリー財団への大口寄付者、白髪克也様(倉敷南RC)レベル1→レベル2

# 出席報告(2014.4月)

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	4月末	内女性会員	増減	
第1グループ	鳥 取	99.14%	85.78%	4	59	62	3	3
	倉 吉	94.20%	76.34%	4	56	56	2	0
	鳥 取 北	82.38%	78.76%	4	50	52	6	2
	智 頭	95.45%	90.91%	4	10	11	0	1
	倉 吉 東	94.51%	65.85%	4	42	39	3	▲3
	鳥 取 西	88.08%	76.17%	4	52	50	0	▲2
	鳥 取 中央	84.72%	82.64%	4	38	36	0	▲2
	倉 吉 中央	89.57%	69.57%	5	22	23	2	1
	計(8)	91.01%	78.25%		329	329	16	0
第2グループ	米 子	80.21%	59.38%	3	63	66	3	3
	境 港	79.01%	72.61%	4	44	45	0	1
	米 子 東	87.64%	78.37%	4	87	89	7	2
	米 子 南	81.13%	65.57%	4	52	56	3	4
	米子中央	87.50%	75.00%	4	35	36	2	1
	計(5)	83.10%	70.18%		281	292	15	11
第3グループ	松 江	91.15%	68.22%	4	64	68	0	4
	松 江 南	94.80%	81.87%	3	64	60	4	▲4
	隠 岐 西 郷	70.24%	63.10%	4	22	22	0	0
	松 江 東	90.48%	77.83%	4	56	61	0	5
	松江しんじ湖	92.22%	68.48%	4	65	67	11	2
計(5)	87.78%	71.90%		271	278	15	7	
第4グループ	出 雲	82.70%	77.84%	4	47	48	1	1
	大 社	87.57%	68.64%	4	47	48	3	1
	出 雲 南	95.90%	75.82%	4	60	62	7	2
	平 田	91.77%	88.54%	4	40	43	2	3
	出雲中央	84.24%	75.00%	4	44	46	3	2
計(5)	88.44%	77.17%		238	247	16	9	
第5グループ	浜 田	91.67%	79.11%	4	54	59	1	5
	益 田	90.48%	71.43%	4	19	20	2	1
	江 津	86.03%	80.15%	4	32	34	1	4
	大 田	87.13%	85.00%	4	24	26	3	2
	益 田 西	96.67%	72.50%	4	30	30	4	0
計(5)	90.39%	77.64%		159	169	11	12	
第6グループ	笠 岡	94.83%	88.44%	4	49	52	0	3
	玉 島	78.18%	70.00%	4	28	28	1	0
	井 原	79.88%	70.12%	4	45	46	3	1
	総 社	76.60%	68.09%	4	38	38	7	0
	高 梁	83.33%	80.00%	3	39	41	1	2
	新 見	74.04%	69.23%	4	24	26	2	2
	笠 岡 東	97.37%	90.13%	4	38	38	1	0
	総社吉備路	88.17%	83.87%	3	33	33	2	0
計(8)	84.05%	77.48%		294	302	17	8	

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	4月末	内女性会員	増減	
第7グループ	倉 敷	99.42%	82.56%	4	84	90	0	6
	倉 敷 南	86.29%	58.06%	4	63	62	5	▲1
	児 島	76.80%	64.00%	4	29	32	0	3
	児 島 東	96.67%	90.00%	3	21	21	0	0
	倉敷瀬戸内	82.12%	74.83%	4	35	38	3	3
	倉 敷 東	95.81%	90.05%	5	40	39	4	▲1
	倉 敷 水 島	93.83%	88.75%	5	24	21	0	▲3
	倉 敷 中央	85.71%	85.71%	4	14	15	3	1
	計(7)	89.58%	79.25%		310	318	15	8
第8グループ	津 山	75.00%	61.63%	4	86	89	3	3
	美 作	84.62%	84.51%	4	35	37	1	2
	津 山 西	88.60%	84.07%	4	32	31	5	0
	真 庭	83.33%	71.53%	4	34	37	0	3
	津山中央	81.82%	81.82%	4	27	26	2	▲1
	計(5)	82.67%	76.71%		214	220	11	7
第9グループ	岡 山	90.61%	72.08%	4	105	109	0	4
	岡 山 東	94.02%	87.50%	4	88	92	0	4
	備 前	63.14%	52.42%	4	65	66	9	1
	岡山後楽園	87.42%	77.36%	3	53	53	0	0
	岡山北西	82.42%	72.12%	3	51	56	3	5
	赤 磐	83.87%	68.33%	4	19	18	0	▲1
計(6)	83.58%	71.64%		381	394	12	13	
第10グループ	岡 山 南	80.31%	73.92%	4	153	155	14	2
	玉 野	79.29%	72.14%	4	35	35	0	0
	岡 山 北	77.27%	61.36%	3	45	44	0	▲1
	岡 山 中央	84.48%	73.68%	4	40	40	2	0
	牛 窓	100.00%	80.00%	2	5	5	0	0
	岡山旭川	68.04%	68.04%	4	27	25	1	▲2
計(6)	81.57%	71.53%		305	304	17	▲1	
第11グループ	岡 山 西	84.14%	72.82%	4	73	76	6	3
	岡山西南	90.05%	83.71%	4	58	56	4	▲2
	岡山備南	89.22%	81.00%	4	30	31	2	1
	岡山丸の内	79.31%	68.97%	4	33	37	2	4
	岡 山 城	86.27%	76.24%	4	25	27	1	2
	岡山岡南	76.22%	66.67%	4	35	37	5	2
計(6)	84.20%	74.90%		254	264	20	10	

クラブ数	67RC
7月1日現在会員数	3,036名
4月末日会員数	3,117名
内 女性会員数	165名
純増	84名
4月出席率	make-up後 86.15% ホームクラブ 75.47%

# わが町 隠れスポット



## 出石町

岡山市北区出石町

「出石町は、約300年の歴史をもつ後楽園に隣接し、岡山の市街地の中では戦災を免れた数少ない地区であり、また岡山城の城下町であった当時の町割りを残しており、旭川の清流とともに都心部にありながら歴史文化の香りあふれる街として親しまれています。

後楽園とともに岡山の歴史を見つめてきた出石町の街なみには、大正時代から昭和初期、そして現在に至るまで、和洋混在の様々な時代背景を持った建物が建ち並んでおり、ひとたび路地裏へ入れば、風情漂う味わい深い町なみを形成しています。中でも後楽園の門前町として賑った往時の名残をとどめる伝統的な和風建築や擬洋風建築が混在する街なみは、独特の街の魅力を醸し出しています。」と解説版にありました。

写真は、旭川のたもとにある公園と旭川にかかる鶴見橋、そしてその先が後楽園です。

(第10グループガバナー補佐 藤原健補)



### ■森本信一ガバナー事務所

〒708-0022 岡山県津山市山下98-1

津山社会教育文化財団 内

TEL (0868) 35-2307 FAX (0868) 35-2308

E-mail [letter@rid2690.jp](mailto:letter@rid2690.jp)

<http://www.rid2690.jp/>

(ホームページよりPDFをダウンロードできます。)



みまさかのくに  
美作国建国1300年

平安時代に編纂された国史「続日本紀」によると美作の国(岡山県北東部)は和銅6年(713)備前の国の6郡を割いて置かれたとあります。これは国際ロータリ第2690地区第8グループの位置とほぼ重なります。平成25年(2013)は、美作の国が誕生してから1300年にあたります。